

「地域での自立をモットーに、成長を支える」 ～地域に支援の輪を広げて～

講師／明石洋子氏・明石徹之氏

講演を聴かれた方のブログから

講演後質疑応答の時間があり、見回すと手を挙げている方がいなかったで、二つ質問させていただいた。

一 普通のお母さんなら、学校卒業したら子育てはある意味ゴール。

でも、障害児・者の子育ては一生。その中で変わらざるモチベーションをキープし続けている原動力はなんですか？

二 明石さんたち先輩が努力してくださったおかげで、現在は福祉の支援も充実し、とても恵まれた環境になってきた一方で、明石さんの頃のように地域づくりや福祉の制度づくりに対して動く親が少なくなったように思う。そんな今の私たち世代へ一言いただければ。
この問いに、明石さんはこう返してくださいました。

「この二つの質問の答えは一つにまとめられると思います。確かに、今は福祉も充実してきました。

それはとても良いことだと思う。

でも、今のお母さんたちは、福祉が充実した分、ある意味かわいそうだなと思うことがあります。

親が子供のために一緒に動く必要もないから、仲間もない。地域とのつながりも薄い。

先日、やまゆり園の事件があったでしょ。あれにはとても突きつけられるものがありました。

まだまだ地域理解を深めることをしなければいけないと。そうでないと私が亡くなった後、徹之が安心して暮らせる、ありのままに居られる未来はないですね。そう思うと、福祉の充実した今でも、親としてやるべきことはたくさんある。是非、子供達が本人の思いを育て、思いに寄り添える環境を作るために、仲間を作ること。地域を育てること。してってください。」

やはり、すい、すいという言葉しか見つからない。

幼児期から現在までの、地域とのかかわりの中で学び、理解者を増やして支援の輪を広げて、お子さんの徹之さんが「働いて楽しむ大人」に成長したお話をさせていただきます。



- と き 9月9日(土)午後6:30～21:00 (午後6時開場)
- ところ 北見市民会館 第1号会議室
北見市常盤町
- 会 費 一般の方 1,000円
- 問い合わせ 懇話会事務局 市野／TEL(0152)74-3680(女満別中学校)
FAX(0152)74-3035(女満別中学校)
※業務の関係で電話に出られないことが多いため、メールをご利用願います。
- 当日参加もできますが、9月3日まで申し込み願います。 E-mail ichino51@nifty.com
- 主催／オホーツクADHD&LD懇話会

プログラム（予定）

- 18:00 開場
18:30 主催者あいさつ
18:40 明石徹之氏 講演
18:50 明石洋子氏 講演
21:00 終了

※小児健康フォーラムは、同日午後2時～午後4時半迄
端野町公民館にて（入場無料）行われます。

講師紹介

明石洋子氏（1946年生まれ 九州大学
薬学部薬学科卒 薬剤師・社会福祉士）
社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長〔無認可
小規模作業所「あおぞらハウス」を平成元年に設立
してから、グループホーム、サポートセンター、相談支
援等の事業を設立、現在13事業所を運営〕一般
社団法人川崎市自閉症協会代表理事（川崎市自閉
症児者親の会会長） NPOかわさき障がい者権利
擁護センター理事長
（社福）「ともかわさき」評議員、（社福）川崎市社会
福祉協議会評議員、川崎市障害者施策審議会委
員、川崎市障害者社会参加推進協議会委員、川崎
市社会福祉協議会あんしんセンター業務監督審査
会委員、川崎市障害者団体部会（18団体）副部会
長、川崎市知的障害者相談員、 かみひこうき（旧
大門明石塾）副会長 等々
現在の社会福祉法人あおぞら共生会での担当
サービス管理責任者（地域生活・児童）、相談支援専
門員、第1種衛生管理者

著書に「ありのままの子育て」「自立への子育て」
「お仕事ががんばります」（ぶどう社）発刊（韓国で翻訳
版3冊及びコミック3巻も出版）。薬剤師の職能を生
かして、「からだ!!げんき!」（全日本育成会）発行。
その他全日本育成会の情報誌「手をつなぐ」の編集
委員（4年間）として原稿多数掲載。その他、発達障
害者支援法ガイドブック（河出書房新書発行）、自閉
症ガイドブック（日本自閉症協会発行）等共著での
著書も多数。保育学会誌や「小児科臨床」に論文掲
載。（小児科臨床2008年12月「自閉症のいわゆる問
題行動とその対応」等）

明石徹之氏は、定時制高校卒業後、1971年7月
から川崎市の公務員として働いている。2009年4月
から川崎市夢見ヶ崎動物公園に勤務。

・NHK総合TV「笑顔で街に暮らす」(25分)・NHK
-BS「お仕事ががんばります」(50分)・韓国KBS「走
って世の中に」(60分)等のドキュメント番組に出
演、NHK「生活ほっとモーニング」生出演(50分)。
日本・アメリカ・韓国・中国で講演多数。

著書（ぶどう社刊）紹介

『ありのままの子育て』

超多動の徹之に振り回されながら、どう育てていっ
ていいかわからず涙にくれていた時代から、地域に
飛び出して行って、地域を耕しながら仲間や支援者
を見つけていった過程を書きました。

『自立への子育て』

家庭で、日々の生活の中で、ことば・トイレ・偏食・こた
わり・お手伝い・お金など、生活に必要なさまざまな
力を、どうやって育てたか、どうやってしつけたかを、
その教え方の知恵や工夫を細かく具体的に書きま
した。

『お仕事ががんばります』

中学時代から「働いて楽しむ」を目標に、定時制高校
では楽しい高校生活を送りながら、作業所や街のお
店で働く体験をし、卒業後は公務員試験を突破して、
川崎市職員として働いています。その歩みをていね
いに書きました。

